

国語科年間指導計画 3 学年

【国語3時間】【書写 1時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
1	教科ガイドダンス 1時間 ・学習規律の確認 ・評価規準および判断基準の説明							・学習用具の確認 ・振り返りシートの書き方 ・ICT機器活用 ・春休み宿題提出
2	世界はうつくしいと 巻頭詩 1時間 ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 【態】進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。	→詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。	観察 ノート ワークシート	
3	書写で学ぶこと 1時間 書写p.2-3 ◎書写学習の目的を理解することができる。 書写の学習の進め方 p.4 ◎学習の進め方の要点を理解することができる。							
4	全国学力・学習状況調査実施							

1 深まる学びへ 【国語1 1時間】【書写3時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
5	握手 3時間 ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)				【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。(1)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えようとしている。(C(1)ア)	→時間・場所など、「現在」と「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喻表現などに着目している。	観察 ノート ワークシート	→P25言葉 →P24意「展開のしかたを捉える」 →P232資「文学的な文章を読むために」 →P284資「語彙を豊かに」
6	◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	○	◎	○	・「読むこと」において、文章に表れているもの見方や考え方について考えようとしている。(C(1)イ)	→「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開のしかたの効果について考えている。 →文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。	観察 ノート ワークシート	
7	★小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)				【態】粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。			
8	身の回りの文字の目的と工夫 1時間 書写p.80-81 (3)エ (ア) ◎身の回りの文字の目的と、それに応じた工夫を理解することができる。	◎			【知・技】身の回りの文字には、目的に応じた工夫がされていることを理解している。	→身の回りの文字がどのような目的で、どのように工夫して書かれているか理解している。	観察 ノート ワークシート	
9	【聞く】評価しながら聞く 1時間 ◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ◎話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表A(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★提案や主張など自分の考えを話したり、それら聞いて質問したり評価などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)	○	◎	○	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ) 【態】聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し、今までの学習を生かしてメモしようとしている。	→根拠としている情報について、事実関係や裏付けなどに注意して聞いている。 →自分の意見と根拠を明確にし、相手の立場から予想される反論についても考えている。	観察 ノート ワークシート	→ DVD・二次元コード →P9「思考の地図」 →P239資「情報整理の方法」 →P240資「発想を広げる」
10	学びて時に之を習ふ——「論語」から 2時間 ◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★漢文を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)	◎	◎	○	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【態】人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。	→教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。 →孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。	観察 ノート ワークシート	→ DVD・二次元コード →P31「漢文の訓読」

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組み態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
12	情報整理のレッスン 情報の信頼性 1時間 ◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組み態度)	◎		○	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ) 【態】学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。	→情報の発信日時、発信源、情報の目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。	観察 ノート ワークシート	
13	文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する 3時間 ◎文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。(知・技(1)ウ) ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)				【知・技】文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	→随筆、物語、報道文など、さまざまな種類の文章があることを理解している。 →修学旅行で心に残った出来事から題材を選び、その題材に関する情報や図表、写真を集め、出典を明らかにして記事の中で活用している。	観察 ノート ワークシート	→P9「思考の地図」 →P239「情報整理の方法」 →P244「グラフの活用/引用・出典」 →P36「修学旅行記の紙面例」 →P37「紙面作成のポイント」 →P284「語彙を豊かに」
14	◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組み態度)	○	◎	○	・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)	→担当した記事の内容が効果的に伝わる文章の種類を選択し、その種類に合わせた文章の構成や表現を工夫している。	観察 ノート ワークシート	
15	★情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く。(思・判・表B(2)イ)				【態】進んで文章の種類を選択し、学習の見直しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。			
16	手書き文字の特徴 p.82-83 (3)エ(ア) 2時間 【用具】鉛筆・ペン ◎手書き文字や手で書くことの特徴を理解することができる。 【文字のいずみ】 仕事のなかで手書き文字 p.84-85 ◎仕事のなかで手書き文字が持つ役割を知り、文字文化への関心を高めることができる。	◎		○	【知・技】 ・手書き文字の特徴を理解している。 【思・判・表】 ・手書き文字の特徴を生かして、効果的に書く工夫を考えている。	→手書き文字がどのような目的で、どのように工夫して書かれているか理解している。	観察 ノート ワークシート	
17	発展『今、あなたに贈りたい漢字コンテスト』に取り組む。(漢検協会主催)					→活字の一部分に手書き文字の特徴を生かしてどのような工夫ができるかを考えている。		
18	漢字1「熟語の読み方」漢字に親しもう1 1時間 ◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組み態度)	◎		○	【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を学んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	→漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。	観察 ノート ワークシート	→P290「三年生で学習した漢字」 →P301「三年生で学習した音訓」 →P302「常用漢字表」

2 視野を広げて 【国語1 1時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組み態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
19	作られた「物語」を超えて 3時間 ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア)				【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア)	→ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、具体と抽象の関係を理解している。	観察 ノート ワークシート	→DVD・二次元コード(ドラミング) →P49「言葉」 →P50「思考のレッスン 具体化・抽象化」 →P234「説明的な文章を読むために」 →P236「情報と情報との関係」 →P48「論理の展開を評価する」 →P284「語彙を豊かに」
20	◎文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ◎文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組み態度)	○	◎	○	・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)	→一論説の特性を踏まえ、原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。	観察 ノート ワークシート	
21	★論説などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)				【態】進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深く理解を生かして、文章にまとめようとしている。	→原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、それらが文章の中で無理なく結び付いているかを確かめながら、自分の考えをまとめていく。		
22	思考のレッスン 具体化・抽象化 1時間 ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組み態度)	◎		○	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 【態】具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。	→具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、抽象と具体の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。	観察 ノート ワークシート	→P236「情報と情報との関係」
23	説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける資料 リオの伝説のスピーチ 4時間 ◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)				【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)	→情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切か確認して、必要な情報を集めている。	観察 ノート ワークシート	→P240「発想を広げる」 →P32「情報整理のレッスン 情報の信頼性」 →P239「情報整理の方法」 →DVD・二次元コード →P26「評価しながら聞く」 →P55「質疑応答の例」
24	◎目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア)	○	◎	○	・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手の立場に立って、伝える必要がある情報を選んでいる。	→話す目的や相手を明確にし、相手の立場に立って、伝える必要がある情報を選んでいる。	観察 ノート ワークシート	
25	◎自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。(思・判・表A(1)イ)				【態】進んで自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(A(1)イ)	→興味を引く導入や明確な主張、聞き手が納得できる根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを考えて、話を構成している。		

26	<p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)</p>				<p>【態】相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて語の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。</p>		
27	<p>漢字に親しもう2 1時間 漢字に親しもう4</p> <p>◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	◎		○	<p>【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	<p>一文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。</p>	<p>観察 ノート ワークシート</p> <p>→P290資「三年生で学習した漢字」 →P301資「三年生で学習した音訓」 →P302資「常用漢字表」</p>
28	<p>文法への扉1 すいかは幾つ必要？ 2時間</p> <p>◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。(2年知・技(1)オ)</p>	◎		○	<p>【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。(2年(1)オ)</p>	<p>→既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際のポイントになることを理解している。</p>	<p>→P210「文法一」、二年生の復習</p>
29	<p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>				<p>【態】助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。</p>		

情報社会を生きる 【国語3時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
30	<p>実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう 3時間 (読②書①)</p> <p>◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ)</p> <p>◎文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ)</p>				<p>【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)</p> <p>・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)</p>	<p>→実用的な文章の資料ごとに、情報の発信者・発信時・発信目的を確認している。</p> <p>→事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考えている。</p> <p>→読み手に必要な情報を過不足なく伝えているか、読み手の状況に合わせた言葉や表現を使っているか、不親切で誤解を招く表現になっていないかなどに点に着目して文章を読み、課題に取り組んでいる。</p>	<p>→P9「思考の地図」</p> <p>→P239資「情報整理の方法」 →P284資「語彙を豊かに」</p>	
31	<p>◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	○	◎	○	<p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>→観みごとに情報を整理し、着眼的を参考に情報の客観性や信頼性を確認しながら表にまとめている。</p>	<p>観察 ノート ワークシート</p>	
32	<p>★論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)</p> <p>★実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える。(思・判・表C(2)ウ)</p>				<p>【態】積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。</p>			

3 言葉とともに 【国語5時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
33	<p>俳句の可能性 俳句を味わう [書く] 俳句を作って楽しもう 3時間 (読②書①)</p> <p>◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>◎文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。(知・技(1)ウ)</p>				<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>・文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ)</p>	<p>→俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。</p> <p>→俳句の形式とその特徴について理解し、俳句を創作している。</p>	<p>→P284資「語彙を豊かに」</p> <p>→二次元コード</p>	
34	<p>◎文章の構成や表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ)</p> <p>◎多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ)</p> <p>◎表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p>	○	◎	○	<p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)</p> <p>・「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)</p> <p>・「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>→語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、評価している。</p> <p>→伝えたいことが効果的に伝わる構成(語順)を考えて、俳句を創作している。</p> <p>→自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。</p>	<p>観察 ノート ワークシート</p>	
35	<p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩歌を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★俳句を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(2年思・判・表B(2)ウ)</p>				<p>【態】進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。</p>			

36	<p>言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現をみざして 1時間</p> <p>◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。(知・技(3)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	◎	○	<p>【知・技】時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。(3)ウ)</p> <p>【徳】時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。</p>	→古典や近代文学、年配の人の会話の例などの中から、自分たちの世代とは異なる言葉の使い方をみつけている。	観察 ノート ワークシート	→P246資「高瀬舟」 →P272資「古典・近代文学の名作」 →P78「言葉1 和語・漢語・外来語」
37	<p>言葉1 和語・漢語・外来語 1時間</p> <p>◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	◎	○	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>【徳】進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。</p>	→和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。	観察 ノート ワークシート	

読書生活を豊かに 【国語2時間】 【書写2時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	徳	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
38	<p>読書を楽しむ 1時間</p> <p>◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	◎		○	<p>【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)</p> <p>【徳】進んで読書の意義と効用について理解し、見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。</p>	→さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書活動を通して、読書の楽しさや意義を発見している。	観察 ノート ワークシート	→P9「思考の地図」 →P232資「文学的な文章を読むために」 →P239資「情報整理の方法」 →P284資「語彙を豊かに」
39	<p>「私の一冊」を探しにこう 羊と鋼の森 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム ためになるってどんなこと? 1時間</p> <p>◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ)</p> <p>◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>	○	◎	○	<p>【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(C(1)エ)</p> <p>【徳】進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめるようとしている。</p>	→本のさまざまな探し方について理解し、興味をもてそうな本を見つけている。 →登場人物の生き方、作品に描かれた時代、社会状況などの観点から、自分の考えを書評にまとめている。	観察 ノート ワークシート	→P232資「文学的な文章を読むために」 →P239資「情報整理の方法」 →P284資「語彙を豊かに」
40	<p>書き手の意図と表現 書写p.86-87 (3)エ(ア) 2時間</p> <p>【用具】鉛筆</p> <p>◎文字は、書き手の意図に応じて効果的に書かれていることを理解できる。</p>	◎		○	<p>【知・技】 ・文字は、書き手の意図に応じて効果的に書かれていることを理解している。</p> <p>【思・判・表】 ・意図に応じて効果的に書くための工夫を考えている。</p>	→文字がどのような目的で、どのような効果があるかを理解している。 →選んだ書体の文字の表現効果や意図、工夫を考えている。	観察 ノート ワークシート	
41								

4 状況の中で 【国語12時間】 【書写1時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	徳	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
42	<p>現代につながる文字の役割 書写p.88-89 (3)エ(ア) 1時間</p> <p>【用具】鉛筆</p> <p>◎文字が果たしてきた役割について考えることができる。</p>	◎		○	<p>【知・技】 ・歴史のなかで文字が果たしてきた役割を理解している。</p> <p>【思・判・表】 ・これまで学習してきたことを踏まえて、文字の役割や現在のつながりについて考えている。</p>	→文字が果たしてきた役割について現代との共通点を理解している。 →文字の役割や現在とのつながりの中で、理由や効果について考えている。	観察 ノート ワークシート	
43	<p>挨拶 ——原爆の写真によせて 1時間</p> <p>◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>◎詩の構成や表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ)</p> <p>◎詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>	○	◎	○	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)</p> <p>・「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(C(1)エ)</p> <p>【徳】詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。</p>	→比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。 →詩に用いられている比喩や象徴的な表現の効果について自分の考えをまとめている。 →現代社会の状況と重ね合わせながら詩を読み深め、作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめている。	観察 ノート ワークシート	→P284資「語彙を豊かに」
44	<p>故郷 5時間</p> <p>◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる(知・技(3)オ)</p>				<p>【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方を</p>	→文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。		→P24憲「展開のしかたを捉える」
45	<p>◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ)</p>				<p>→自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代</p>			

46	◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ)	○	◎	○	について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	背景などを調べて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。 →「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。	観察 ノート ワークシート		
47	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)								
48	★小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)				【態】粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。				
49	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る 1時間 ◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。(知・技(1)エ) ◎話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表A(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★提案や主張など自分の考えを話したり、それら聞いて質問したり評価などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)	○	◎	○	【知・技】敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ) 【態】粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。	→話し手や聞き手が、対談の中で、適切な言葉遣いをしている。 →自分の知識や経験などと結び付けながら話を聞き、対談の中で、相手の思いに迫ることができた質問や話を豊かに展開させた応答は、どのようなものだったか捉えている。	観察 ノート ワークシート	→DVD・二次元コード	
50	[推敲]論理の展開を整える 1時間 ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ◎目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	○	◎	○	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(B(1)エ) 【態】目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。	→「具体と抽象」、「事実と意見」、「意見と根拠」について既習した内容を振り返りながら課題に取り組んでいる。 →課題に沿って文章を推敲し、論理の展開を整えている。	観察 ノート ワークシート	→P236資「情報と情報との関係」	
時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項	
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)			
51	言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語 1時間 ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 【態】積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。	→慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。	観察 ノート ワークシート	→P284資「語彙を豊かに」	
52	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しよう3 1時間 ◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	→漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。	観察 ノート ワークシート	→P290資「3年生で学習した漢字」 →P301資「3年生で学習した音訓」 →P302資「常用漢字表」	
53	1学期期末テスト ・形成テストの実施	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、45%以上80%である。	【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、80%以上である。	テスト結果		
54	1学期期末テスト ・形成テストの解答と解説	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、45%以上80%である。	【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、80%以上である。	分析レポート		
5 自らの考えを 【国語15時間】									
時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項	
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)			
55	人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 3時間 ◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ)				【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思・判・表】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)	→自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。(2)イ) →二つの文章を比較して共通点や相違点を表にまとめ、それを基に、話し合っている。	観察 ノート ワークシート	→P234資「説明的な文章を読むために」 →P242資「話し合いの方法」	
56	◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★論説の文章を比較して読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)	○	◎	○	・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【態】積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。	→自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書いている。	観察 ノート ワークシート		

58	多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く 5時間 ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア)				【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア	→具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。	観察 ノート ワークシート	→P240資「発想を広げる」
59	◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ)		◎		【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)	→観点を決めて問いと考えを書き出し、表にまとめるなどして分析している。		→P133窓「説得力のある批評文を書くには」 →P284資「語彙を豊かに」 →P244資「グラフの活用/引用・出典」
60	◎表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	○	◎	○	・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	→自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。		
61	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)				【態】粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見直しをもって批評文を書こうとしている。			
62	★関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)							
63	実力テスト ・形成テストの実施	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、45%以上80%である。	【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、80%以上である。	テスト結果	
時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
64	[議論]話し合いを効果的に進める 1時間 ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ◎進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表A(1)オ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★互いの考えを生かしながら議論や討論をする。(思・判・表A(2)イ)	○	◎	○	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) 【態】積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。	→全体に関わる大きな論点から、具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えている。 →話し合いの目的や進み具合など展望をもって効果的に話し合う工夫を考えている。	観察 ノート ワークシート	→ DVD
65	合意形成に向けて話し合う 課題解決のために会議を開く 4時間 ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア)				【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア	→複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめている。	観察 ノート ワークシート	→P240資「発想を広げる」
66	◎進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表A(1)オ)	○	◎	○	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)	→提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。		→P242資「話し合いの方法」 → DVD・二次元コード →P139窓「話し合っ合意を形成するには」 →P239資「情報整理の方法」
67	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)				【態】合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見直しをもって話し合おうとしている。			
68	★互いの考えを生かしながら議論や討論をする。(思・判・表A(2)イ)							
69	音読を楽しもう 初恋 1時間 ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎詩の構成や展開、表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	○	◎	○	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。(1)イ 【思・判・表】「読むこと」において、詩の構成や展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) 【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。	→言葉の響きやリズムを味わいながら朗読している。 →一文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像している。	観察 ノート ワークシート	

6 いにしえの心を受け継ぐ 【国語 8 時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
70	和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序 1時間 ◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	○		◎	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア 【態】進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。	→「和歌の世界」を読んだり、「仮名序」を朗読して比喩的な効果を確認したりしながら、和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。	観察 ノート ワークシート	→P272資「古典・近代文学の名作」やP278資「日本文学の流れ」で文学史を知り、歴史的背景に興味をもたせるとよい。 → DVD・二次元コード
71	君待つと ——万葉・古今・新古今 3時間 ◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。(知・技(3)イ)				【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ	→三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。 →一気にいった言葉や表現の効果などに気づき、引用している。	観察 ノート ワークシート	→ DVD・二次元コード →P153「和歌の表現方法」 →P27・P92・P142・P194「季節のしおり」の和歌などを用いて選択肢を増やしてもよい。
72	◎和歌の表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ)	○	◎	○	【思・判・表】「読むこと」において、和歌の表現のしかたに	→心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもつ		

73	<p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★和歌を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>				<p>ついて評価している。(C(1)ウ)</p> <p>【態】進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見直しをもって鑑賞文を書こうとしている。</p>		<p>→P162「古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう」</p>
74	<p>夏草——「おくのほそ道」から「書く」古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう 4時間(読③書①)</p> <p>◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア)</p> <p>◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。(知・技(3)イ)</p>				<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 	<p>→作者や作品について興味を持ち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。</p> <p>→古典の言葉を引用して鑑賞文やメッセージを書いている。(3)イ)</p>	<p>→DVD・二次元コード</p>
75	<p>◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ)</p>				<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 	<p>→芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、現代の「旅」がもつ意味と比較している。</p> <p>→芭蕉が見たものや感じたことを想像している。</p>	<p>◇脚注にある歴史的背景を参考にさせる。</p> <p>◇P156「『おくのほそ道』俳句地図」にある俳句も参考にさせるとよい。</p>
76	<p>◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ)</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) 	<p>→自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、相手の状況を踏まえて構成を工夫してメッセージを書いている。</p>	<p>◇P27・P92・P142・P194「季節のおしり」などを参考にさせてもよい。</p>
77	<p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く。(思・判・表B(2)イ)</p>				<p>【態】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。</p>		

7 価値を生み出す 【国語7時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
78	<p>誰かの代わりに 2時間</p> <p>◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用語や四字熟語などについて理解を深め、語や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ)</p>				<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用語や四字熟語などについて理解を深め、語や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p>	<p>→抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読んでいる。</p>	<p>→P50「思考のレッスン」具体化・抽象化</p>	
79	<p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★論説の文章を読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)</p>				<p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>【態】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。</p>	<p>→文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。</p>	<p>→P234資「説明的な文章を読むために」</p> <p>→P284資「語彙を豊かに」</p>	
80	<p>情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く 2時間</p> <p>◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ)</p>				<p>【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p>	<p>→具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。</p> <p>→資料から読み取ったことと考えるとの関連などについて、改善点を助言し合って推敲している。</p>	<p>→P244資「グラフの活用」</p> <p>◇P173「小論文に使う言葉」を参考にさせる。</p> <p>→P284資「語彙を豊かに」</p>	
81	<p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>				<p>【態】論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見直しをもって小論文を書こうとしている。</p>			
82	<p>漢字3 漢字のまとめ 1時間</p> <p>◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>				<p>【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	<p>→文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。</p>	<p>→P301資「三年生で学習した音訓」</p> <p>→P284資「語彙を豊かに」</p> <p>→P290資「三年生で学習した漢字」</p> <p>→P302資「常用漢字表」</p>	
83	<p>文法への扉2 「ない」の違いがわからない? 2時間</p> <p>◎単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解することができる。(知・技1年(1)エ、2年(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>				<p>【知・技】単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解している。(1年(1)エ、2年(1)オ)</p> <p>【態】単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。</p>	<p>→「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。</p>	<p>→P210「文法一・二年生の復習」</p>	
84	<p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>							

読書に親しむ 【国語3時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		

85	<p>本は世界への扉 エルサルバドルの少女 ヘスース 紛争地の看護師 読書案内 本の世界を広げよう 1時間</p> <p>◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ)</p> <p>◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★二つのノンフィクションを比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり、文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)</p>	◎	○	○	<p>【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>【態】進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。</p>	<p>一二つのノンフィクションを読み、読書によって、さまざまな状況に生きる人々やそこで活動する人々について知ったり、読書が自分の生き方を支えてくれることに気づいたりする。</p> <p>一読書を通して、考えたことや気づいたことを読書ノートに書いたり、「私のおすすめ」として紹介したりしている。</p>	観察ノート ワークシート	<p>◇写真や注などを参考にしたり、新聞やニュースなどで紛争地の情報を調べたりして、困難な状況でたくましく生きる人々や世界で活動する人々について考えさせる。</p> <p>→P246資「高瀬舟」</p> <p>→P259資「二つの悲しみ」</p>
86	総合テスト ・形成テストの実施	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、45%以上80%である。	【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、80%以上である。	テスト結果	
87	総合テスト ・形成テストの解答と解説	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、45%以上80%である。	【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、80%以上である。	分析レポート	

8 未来へ向かって【国語1 1時間】【書写3時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
88	<p>温かいスープ 3時間</p> <p>◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ)</p> <p>◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>				<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>【態】詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。</p>	<p>一言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読している。</p> <p>一詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。</p>	観察ノート ワークシート	<p>◇詩の歴史的背景を確認させるとよい。</p> <p>→P278資「日本文学の流れ」</p>
89	<p>わたしを東へないで 2時間</p> <p>◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>◎詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>	○	◎	○	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>【態】詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。</p>	<p>一言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読している。</p> <p>一詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。</p>	観察ノート ワークシート	<p>◇詩の歴史的背景を確認させるとよい。</p> <p>→P278資「日本文学の流れ」</p>
93	<p>【文字のいずみ】書き初めをしよう 書写p.90,105-108 (3)エ(ア) 2時間 (希望に輝く春) (生命を尊ぶ) (不屈の精神) (梅の花咲く里)</p>	◎	○		【知・技】 ・これまでの学習を理解して書き初めを書いている。	一書き初めの意義を理解し、毛筆書写の学習の成果を生かし、書き初めを書いている。	観察作品 (書き初め用紙)	
94	<p>【用具】毛筆 ◎書きたい言葉と書体を考え、これまでに学習してきた「書写のかぎ」を生かして、書き初めを書くことができる。</p>							
95	<p>三年間の夢を振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする 5時間(話聞①書④)</p> <p>◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p>				<p>【知・技】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。(1)イ)</p> <p>・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ)</p>	<p>一目的や相手を意識して言葉を選び、冊子をまとめようとしている。</p> <p>一相手や場を意識しながら適切な言葉を選び、自分の考えを伝えている。</p>		<p>→P34「文章の種類を選んで書こう」</p> <p>→P239資「情報整理の方法」</p>
96	<p>◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。(知・技(1)エ)</p>							
97	<p>◎場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)</p>	○	◎	○	<p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)</p>	一相手を意識して敬語を適切に使い、自分の考えがわかりやすく伝わるように構成を考えて発表している。	観察ノート ワークシート	
98	<p>◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>				<p>・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)</p>	一自分の考えや思いがわかりやすく伝わるように構成や内容を考えて冊子を作っている。		<p>→P207「冊子の例」</p> <p>→DVD</p> <p>→P207窓「学んだことを意味づけ、今後には生かすためには」</p> <p>→P206「発表の例」「質疑応答の例」</p> <p>→P52「説得力のある構成を考えよう」</p>
99	<p>★提案や主張など自分の考えを話したり、それら聞いて質問したり評価などを述べてたりする。(思・判・表A(2)ア)</p> <p>★情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く。(思・判・表B(2)イ)</p>				<p>【態】粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の前で発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。</p>			

100	<p>【生活に広げよう】 思いを文字で表そう 書写p.91-93 (3)エ(ア) 1時間 【用具】鉛筆・毛筆・ペン ◎書写で身につけた力を生かして、自分の思いを効果的に文字で表現できる。</p>	◎	○	<p>【思・判・表】 ・自分の思いを表現するために、既習事項をどのように生かすか考えている。 【態】 ・既習事項を生かして、進んで、思いを表す言葉を書こうとしている。</p>	→これまでの学習を生かして、生活に広がる題材を内容に合った方法で書くことが出来る。	観察 ノート ワークシート	
101	<p>漢字に親しもう5 1時間 漢字に親しもう6 ◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	◎		<p>【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(知・技(1)ア) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	→音訓や部首などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。	観察 ノート ワークシート	→P290資「三年生で学習した漢字」 →P301資「三年生で学習した音訓」 →P302資「常用漢字表」

振り返り 【国語4時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
102	<p>学習を振り返ろう 4時間 (読②話聞①書①) ◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。(知・技(1)エ) ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。(知・技(3)ウ)</p>				<p>【知・技】 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ) ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。(3)ウ)</p>	<p>→相手や場を意識して敬語を使ってスピーチしたり、説明文を書いたりしている。 →目的に応じて情報を収集・整理して相手にわかるように説明している。 →昔の時間の表し方や地名などを調べ、現代と比較したり、現代に受け継がれたりしていることを理解している。</p>	観察 ノート ワークシート	→P232資「文学的な文章を読むために」 →P14「握手」 →P98「故郷」 →P284資「語彙を豊かに」
103	<p>◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ) ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ) ◎自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。(思・判・表A(1)イ)</p>	◎	◎	○	<p>・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(A(1)イ)</p>	<p>→アイヌ民族における地名に関する文章を読み、読書によって世界が広がることを理解している。 →文章に表れているもの見方、考え方と自分の考えを比較して、人間や社会について自分の考えを書いている。 →目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように表現のしかたを工夫している。</p>		
104	<p>◎場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ◎表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	◎	◎	○	<p>・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>→自分の考えがわかりやすく伝わるように聞き手の反応を確かめながら、問いかけたりわかりやすく言い換えたりしている。 →本文から根拠となる部分を挙げて、客観的に自分の考えを書いている。</p>	観察 ノート ワークシート	→P237資「豊かに表現するために」
105	<p>★論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア) ★詩歌や小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ) ★提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア) ★情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く。(思・判・表B(2)イ)</p>				<p>【態】粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。</p>			